

教科	地理歴史	科目（単位数）	日本史B（4）	学年	3	類型	文Ⅱ・理系
----	------	---------	---------	----	---	----	-------

学習目標	①「過去」に真摯に向き合い学ぶ姿勢と、未来を展望する力の涵養。②自国の歴史を総合的に俯瞰する力の涵養。③身近な地域社会の歴史に関する関心の喚起。④自国の伝統を、短期的・短絡的な視野に囚われず、悠久たる歴史に求める意識の喚起。⑤巨視的・微視的視座を往還しつつ思考する力や、それを基盤とする柔軟な思考力の涵養。
------	---

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	⑭占領と国際復帰 ⑮55年体制と高度経済成長	⑭占領方針とその転換、さらにそれに対応した国内諸施策について理解する。 ⑮独立回復後の政治・外交・経済を概観し、複合的に理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～ 期末考査	⑮55年体制と高度経済成長 ①日本のあけぼの ②古代国家の形成	①日本列島における旧石器、縄文、弥生期の特徴を理解する。特に弥生期においては、大陸との関係について留意する（文明の伝播及び小国連合、邪馬台国について）。 ②ヤマト政権の積極的な対外政策を、その国内統治と併せて理解する。 ③厩戸（聖徳太子）政権から天武・持統朝までの各政権に係る共通点・相違点の精確な理解をはかり、その「共通点」の成果である律令体制について、民衆の負担と併せて理解する。 ④仏教の興隆が国内（文化面に限らない）に及ぼした影響を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期 中間考査	③古代国家の展開 ④宮廷貴族社会の成立 ⑤武家政権の成立	③④⑤王権の変遷と、武士の台頭に至る政治史の展開（他氏排斥～摂関政治～院政～平氏政権～鎌倉幕府）を、論理的に理解する。 ③④末法到来による仏教の変化を理解すると同時に、貴族の信仰・風習を理解する。 ④⑤武士の台頭から武家政権の成立までの過程を理解する（特に、鎌倉幕府の性格とその変化に留意する）。 ⑥平安末～鎌倉期における仏教の変化を軸とした文化の展開を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末考査	⑥中世社会の展開 ⑦幕藩体制の確立	⑥⑦室町～江戸初期に係る武家政治の展開について、精確に理解しつつ、概観できるようになる。 ⑥⑦武家政権により荘園公領制が動揺・消滅する過程を理解する。 ⑥⑦文化面における仏教の位置付けの変化を意識しつつ、室町文化、桃山文化、江戸初期の文化を概観する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 年度末	⑧幕藩体制の展開 ⑨幕藩体制の動揺	⑧安定した幕藩体制下の政治史と、諸産業・経済の発展について理解する。 ⑨幕藩体制の動揺をもたらした要因を理解する。 ⑧⑨幕藩体制下の文化の変遷を、政治・経済などとの関連を意識しながら理解する。 ※⑧⑨は、定期考査等で復習する機会がないまま受験を迎えるため、各自で確実に復習することが求められる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	教科書『新日本史B 改訂版』（山川出版社） 副教材『最新日本史図表』（第一学習社）、『4ステージ演習ノート』（数研出版）、 『日本史用語集』（山川出版社）
学習方法	①教科書を音読する。【最重要】 ②重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ③授業や家庭学習で、各歴史用語間にどのような関係があるのか（または、関係がないのか）把握する。
評価方法	①定期考査（80％） ②平常成績（20％） 課題／実力考査、提出物等の実績等は②の算出に利用される。また、授業者・出題者の内容の誤りを指摘できた場合は、②にさらに加点する。